令和8年度　第1回　大和郡山市国民健康保険運営協議会　　会議録要旨

日　　時		令和8年8月20日(木)　午後1時30分から2時10分まで
場　　所		大和郡山市役所　4階　大会議室
出席者	委　員	瀧川委員　堀江委員　中筋委員　奈良谷委員　楠見委員　森山委員　村上委員 西﨑委員　松岡委員　松本委員　槌谷委員　胡内委員　壷井委員　福田委員 林委員　冨野委員　北野委員　中村委員　植松委員　吉川委員　岡田委員 我妻委員
	事務局	松浦市民生活部長　柴田保険年金課長　北林保険年金課課長補佐兼保険税係長　岡本給付係長　森川　永岡
欠　席　者		柿崎委員
案　件		(1)令和7年度国民健康保険事業特別会計決算見込みについて
		案件(1)に関し、 令和７年度決算見込み（約１億７千３１万円の黒字見込み）について、 事務局より報告を行った。 ＜主な質疑および意見は次のとおり＞ 【質問】 ①歳入歳出額減少の要因は被保険者数の減少のみと考えるか。 →被保険者数の減少により、交付金及び総医療費が減少し、国保財政規模の縮小に繋がっていると考える。 ②被保険者数の減少により保険税収入額が減少する一方で、特定健診や脳ドック、口腔健診等の保健事業も推進され、健全な事業の運営に努めていると考える。 これに対し、事務局側の見解は。 →医療費抑制のため特定健診の無償化・ジェネリック医薬品の利用推進を進めてきた。その結果、特定健診受診率は県内12市でトップ、ジェネリック医薬品の利用率は2位となっている。引き続き健全な事業の運営に努めたい。 ③被保険者数の減少・今後の財政見通しについて事務局側の見解は。 →団塊の世代の後期加入が落ち着き、被保険者数の減少は少しずつ緩やかになると考える。保険税の収納率については、財産調査を強化し収納率の向上に努めたい。
そ の 他		・令和９年度国民健康保険税について 以上について、事務局より報告を行った。